

携帯電話

機能補完と充電同時に

ムーブ 外部拡張ユニット考案

【神戸】ムーブ（神戸市中央区、市成修社長、078・230・470

開発、モバイル機器の新市場を開拓する方針だ。携帯電話の弱点である

する。通信機能や漢字変換などの諸機能もそのまま流用。

いる。

ライセンス方式の販売を中心とするが、専用コ

0)は、携帯電話の機能補完と充電を同時に行う外部拡張ユニットを考案した。ハードディスクやメモリーを搭載せず、基本ソフト（OS）にも依存しない。03年6月までに試作機を完成させ、1万円以下の価格で供給する。同時にコンテンツも

キー入力難しさ、表示画面の解像度限界、バッテリーの短時間消費などを補う。OS依存度が高い携帯情報端末（PDA）などと異なり、携帯電話をメインCPUと位置付けたのが特徴。セキュリティや個人認証にも携帯電話の機能を活用

基本機能は高解像度での画面表示、キーボードによる入力、充電など。電子メールや各種アプリケーションにも対応する。携帯電話を充電しながら画面を表示することも可能。サイズは文庫本程度で、重量は200gから300gを想定して

ライセンサー方式の開発にも力を入れる。新ユニットを普及させるため、学識経験者やITベンチャーなどと「スーパーモバイルコンソーシアム」（神戸市）を設置済みで、IP双方向ラジオや、位置情報サービスなどの開発を目指す。